



No.20

カタログに記載の製品の仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

SAGANT
ANTENNA

サガ電子工業株式会社

〒849-0903 佐賀県佐賀市久保町下和泉 1958-14
Tel : 0952-37-8805 (代) FAX : 0952-37-6334
URL <http://www.sagant.co.jp>

令和4年3月現在

使用の際は必ず添付されたマニュアルをお読みにになり、正しく安全にご使用ください。仕様及び外観は予告なく変更される場合がありますので、ご了承ください。カタログや製品に記載の製品価格には取り付け工賃、送料、消費税は含まれておりません。カタログや製品に記載してある事項、技術上の資料並びに勧告は全て、弊社の信頼している実験に基づいておりますが、その正確性もしくは信頼性について絶対的な保証はしません。使用者は使用に先立って製品が自己の用途に適合するか否かを判断し、それに伴う危険と責任もすべて負うものとします。売主及び製造者の義務は不良である事が証明された製品を取り替える事だけにあり、それ以外の責任はご容赦ください。耐入力値は、使用条件や気象条件などにより大きく変化する事があります。アンテナの設置には安全に十分配慮して行なってください。車載については、運転者および歩行者、他の運行車両に危険を与えない最大の配慮をしてください。

コンパクトで使い易い *Arrow Line Antenna*

アローラインアンテナ：

アローラインアンテナは弊社の代表的なアンテナです。1980 年頃、既にアマチュア無線で高い評価を受けていたアローラインアンテナは、福岡国際マラソンの中継用アンテナとして、試験的に採用されました。その信頼性が高く評価され、各地の中継現場をはじめ、ペルー日本大使館人質事件、阪神淡路大震災、G 7 伊勢志摩サミット 2016 などの各現場でも活躍しました。

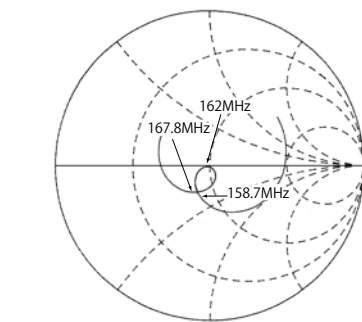
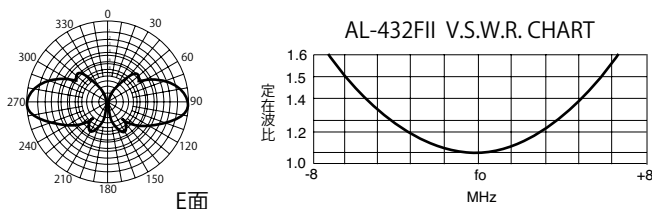
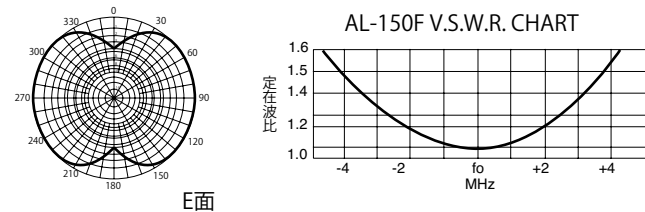
型名の最後の F は基本的なスタイル、FR は伸縮式、FL は下部に接栓がついたタイプです。アンテナを高く上げたい時、伸ばして使用します。

AL-1200F II は特定ラジオマイク用アンテナとして人気のあった AL-800F II の兄弟モデルです。

AL-160/360FW は、VHF と UHF を一本にまとめた二波共用アンテナです。

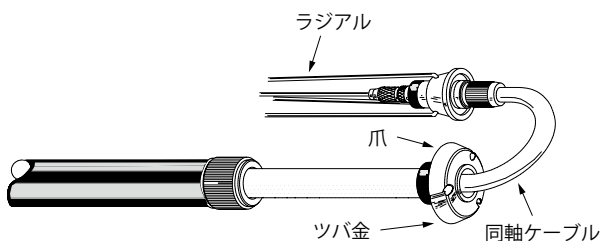
AL-40F は、アマチュア無線用でお馴染みの短縮型アローラインの応用製品です。40MHz 以下の指定周波数に応じて製作します。

全長 2.5m のセンターローディング方式です。

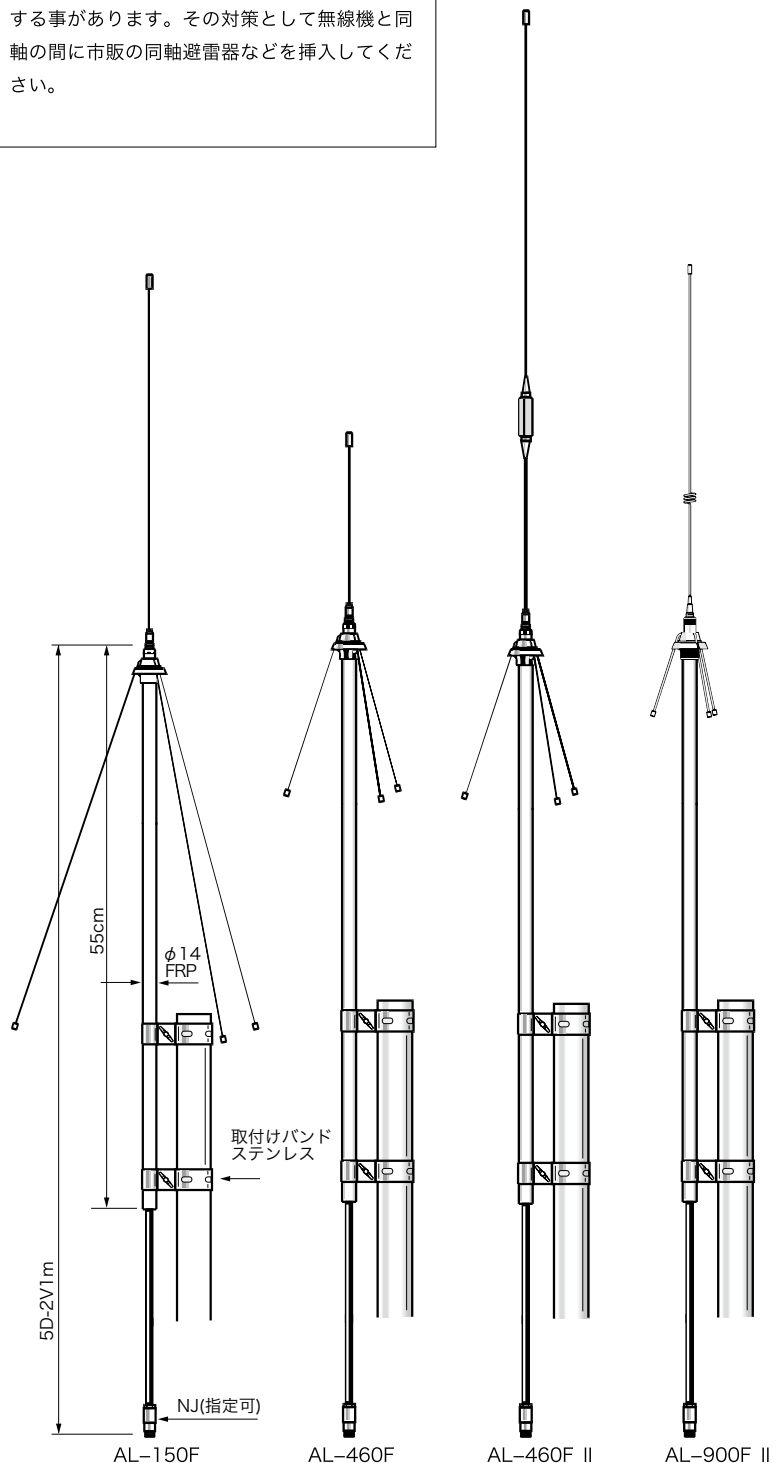


アローラインは移動に強い

ラジアルは、ステンレス材。ラフな取扱いに耐えます。ケースにラジアルを束ねて収めておけば、アンテナを取り出した時、そのバネ性で瞬時にラジアルが開き、アンテナセッティングが敏速にできます。ラジアルをツバ金の爪から外したら図のようになります。収納や発送が容易です。



*雷などの対策について
アンテナの同軸ケーブル（コネクターの部分）には季節や地域の気候条件により静電気が発生する事があります。その対策として無線機と同軸の間に市販の同軸避雷器などを挿入してください。

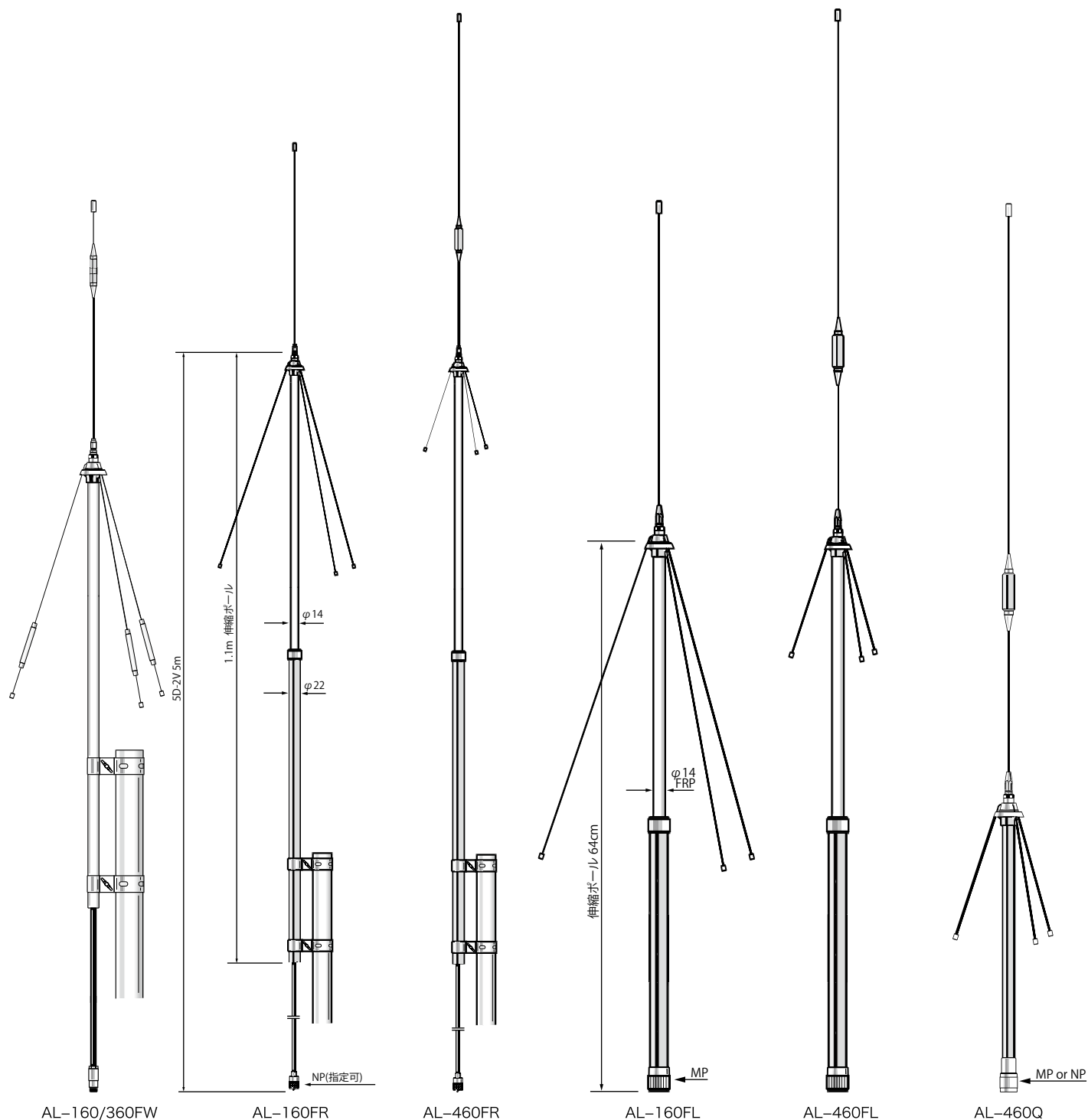


型 名	使用周波数 (MHz)	形 式	利得 (dBi)	全長 (約 m)	質量 (約 kg)	備 考	
AL-120F-MR	120~135MHz 内の一指定周波数	単一型 (V) 1/2 λ	2.15 以下	1.6	0.3	5D-2V 約 1m NJ	
AL-150F	140~170MHz 内の一指定周波数			1.1			
AL-350F	351MHz 帯			0.8	0.2		
AL-460F	330~470MHz 内の一指定周波数			0.7			
AL-460F II	460~470MHz 内の一指定周波数	単一型 (v) 5/8 λ 2 段コリニア	5 以下	1.3	0.3		5D-2V 約 1m NJ
AL-900F II	910~930MHz			0.8	0.2		
AL-1200F II -MR	1260~1300MHz			0.7			
AL-160/360FW	160MHz 及び 360MHz 帯内の一指定周波数	単一型 (V) 1/2 λ	-	0.9	0.4	5D-2V 約 5m MP or NP MP	
AL-160FR	140~170MHz 内の一指定周波数		2.15 以下	1.6	0.8		
AL-160FL				1.2	0.4		
AL-460FR	460~470MHz 内の一指定周波数	単一型 (v) 5/8 λ 2 段コリニア	5 以下	1.8	0.8	5D-2V 約 5m MP or NP MP or NP	
AL-460FL				1.3	0.4		
AL-460Q				1	0.2		

入力インピーダンス 50 Ω 、V.S.W.R.: 1.5 以下 (同調周波数) 全長にケーブル長は含まず。マストは製品には含まれていません。

型 名	使用周波数 (MHz)	形 式	利得 (dBi)	全長 (約 m)	質量 (約 kg)	備 考
AL-40F	30~36MHz 内の一指定周波数	単一型 (V) $1/2 \lambda$	-	2.5m	0.7	5D-2V 約 1m MJ

短縮型アローラインアンテナです。 入力インピーダンス 50 Ω 、V.S.W.R.: 1.5 以下 (同調周波数) 全長にケーブル長含まず。



型 名	使用周波数 (MHz)	形 式	利得 (dBi)	全長 (約 m)	質量 (約 kg)	備 考
AL-40FO (H)	37~42MHz 帯内の一指定周波数	単一型 (v) $1/2 \lambda$	-	1.6	0.5	5D-2V 約 3.9m (約 3m 露出) ケーブル長の指定可能 NP(BNCP 指定可能)
AL-460FO	460~470MHz 内の一指定周波数	単一型 (v) $5/8 \lambda$ 2 段コリニア	5	1.6	0.5	
AL-160FO	140~170MHz 内の一指定周波数	単一型 (v) $1/2 \lambda$	2.15	1.4	0.4	
AL-40FT (H)	37~42MHz 帯内の一指定周波数	単一型 (v) $1/2 \lambda$	-	1.6	0.5	NJ (BNCJ 指定可能)
AL-460FT	460~470MHz 内の一指定周波数	単一型 (v) $5/8 \lambda$ 2 段コリニア	5	1.6	0.5	
AL-160FT	140~170MHz 内の一指定周波数	単一型 (v) $1/2 \lambda$	2.15	1.4	0.4	

V.S.W.R. : 1.5 以下 (同調周波数)。入力インピーダンス 50 Ω 。指定周波数に応じて全長も変化いたします。全長にケーブル長は含みません。

マイクスタンド取り付けネジ (PF1/2) 付きアンテナです。マイクスタンドのネジが異なる場合には市販の変換コネクタを使用してください。

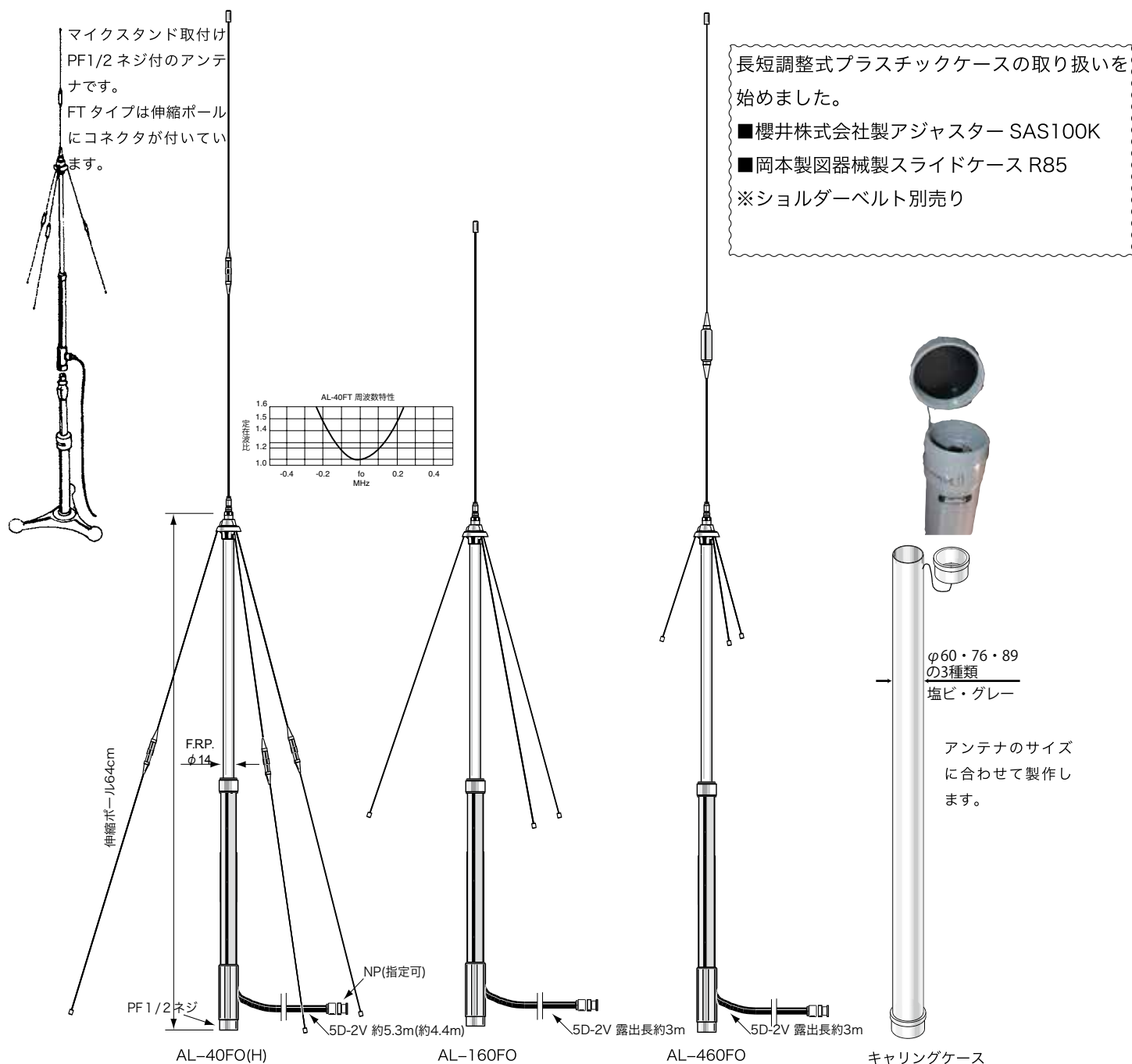
注意 :

スタジオ・ステージ用アローラインアンテナと称していますが、運用上、電波障害に注意を払う必要があります。電波障害は、運用する周波数帯や電力および電波型式に関係なく起ることがあります。障害はテレビ、ステレオ、電話などの受信障害やペースメーカーなどを狂わせたり、機器の直接内部回路に障害を与えたりして思わぬ事態を発生させます。特に屋内は障害が起こりやすい環境下でありハイパワー送信は絶対に行わないでください。

AL-40FO (H)、AL-40FT (H) は 25W 送信機に対応しております。ハイパワー運用の場合は SWR 計などで常にアンテナの状態を監視しながら運用してください。送信中、V.S.W.R. が悪化するなど異常を示した場合は即時に送信を停止し、ケーブルやコネクタの状態を確認してください。送信中、または送信後間もないアンテナには触らないでください。やけどや感電するおそれがあります。

従来製品の AL-40FO、AL-40FT は、25W 送信機には対応しておりません。

カタログや仕様書に記載された利得や最大入力値は、使用条件などによって大きく変化する場合があります。あくまでも目安としてください。



型 名	使用周波数帯 (MHz)	形 式	利得 (dBi)	全長 (約 m)	質量 (約 kg)	備 考
CM-40	37~42MHz 帯内の一指定周波数	単一型 (v) 1/4 λ	-	1	0.2	MP
SM-150NR	140~170MHz 内の一指定周波数	単一型 (v) 1/2 λ	2.15	0.5	0.1	NP(or MP)
SM-150NR-S			-			
SM-400NR	460~470MHz 内の一指定周波数	単一型 (v) 1/2 λ、5/8 λ 2 段コリニア	2.15	1	0.2	NP(or MP)
CM-160/460	160 / 460MHz 帯内の一指定周波数		2.15/5			
MP-160J	140~170MHz 内の一指定周波数	単一型 (v) 1/4 λ	2.15	0.25	0.3	MP
NP-160J						NP
NP-330J	330MHz 帯内の一指定周波数					MP
MP-460J	460~470MHz 内の一指定周波数					NP
NP-460J		単一型 (v) 1/4 λ (容量接地型)	-	0.4	0.4	MP
NP-160/360J	160/360MHz 帯内の一指定周波数		-	0.16	0.7	MP
SLIM-156	140~170MHz 内の一指定周波数		2.15	0.45	0.5	3D-2V 4m、NP(指定可)
MGP-150S				0.2		
MGP-460S	460~470MHz 内の一指定周波数			0.45		5D-2V 4m、NP(指定可)
MGP-160/360S	160/360MHz 帯内の一指定周波数			0.2		
MGP-150-5DN	140~170MHz 内の一指定周波数	単一型 (v) 1/2 λ	2.15	0.2	0.4	TNCP (NP)
MGP-400-5DN	460~470MHz 内の一指定周波数					
B-27T (B-27T(N))	890~933MHz	単一型 (v) 1/2 λ				

V.S.W.R. : 1.5 以下 (同調周波数)。入力インピーダンス 50 Ω。指定周波数に応じて全長も変化いたします。全長にケーブル長は含まず。

ホイップアンテナは適切な RF グランドが必要です。

マグネットアンテナ MGP シリーズは、磁力で車両の金属ルーフに取付けます。マグネットカバーは ABS 樹脂を使用しています。吸引面のリブは軟質ゴムにより構成されています。ケーブル 3D-2V タイプと 5D-2V タイプがあります。

MG-DWW は、三点吸引式マグネット基台です。幅広い面積で天井に張付き大型のアンテナにも対応します。倒れても容易に転がり落ちません。机上のスタンドにもなります。代行運転の看板用途にケーブルなしも出荷しています。

CM-40 SM-150NR CM160/460 SLIM156M B-27T B-27T(N) MP-160/360J MP-160J NP-300J MP-460J SM-400NR

品 名	2GHz 帯スリーブアンテナ
型 名	NP-2000SA
周 波 数 (MHz)	2355MHz
形 式	単一型 (V) 1/2 λ
利 得 (dBi)	公称 2.15dBi 以下
V. S. W. R.	1.5 以下
最大入力 (W)	1 0 W 以下
全 長 (約 m)	0.2
質 量 (約 kg)	0.6
接 栓	NP

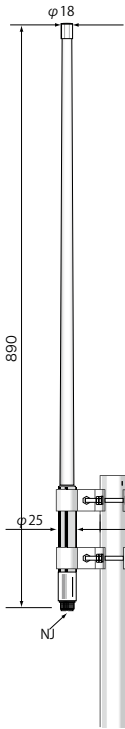
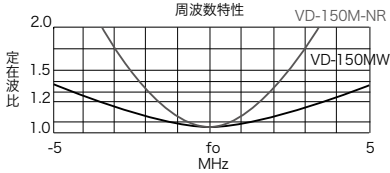
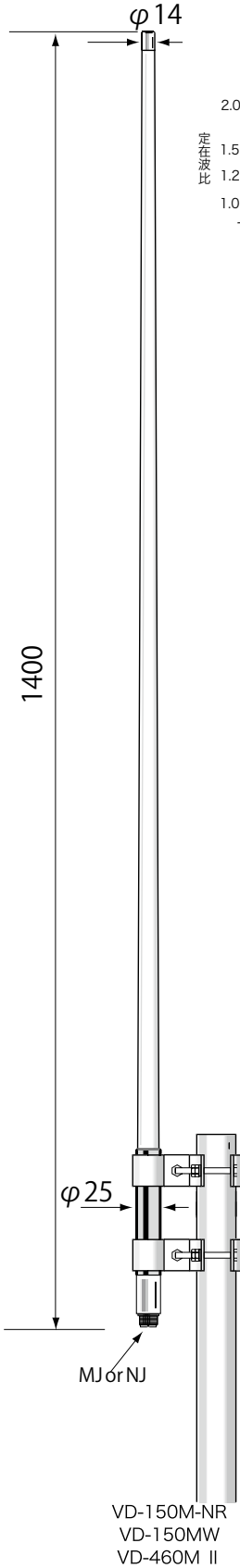
品 名	マグネット基台
型 名	MGP-5N-N
備 考	5D-2V 5m NJ-NP

MGP-460S MGP-150S 5D-2V 4m ケーブルセット MG-DWW

型 名	使用周波数 (MHz)	形 式	利得 (dBi)	全長 (約 m)	質量 (約 kg)	備 考
VD-150M-NR	140~170MHz 内の一定周波数	単一型 (v)1/2 λ	2.15	1.4	0.4	M J (N J)
VD-150MW						
VD-460M	300~470MHz 内の一定周波数	単一型 (v)1/2 λ	2.15	1		
VD-460M II	460~470MHz 内の一定周波数	単一型 (v)5/8 λ 2 段コリニア	5	1.4		N J
VD-900M II	910~930MHz			0.9		

V.S.W.R.：1.5 以下（同調周波数）。入力インピーダンス 50 Ω。周波数は帯域内指定一波。マストは製品には含まれていません。

VD-150M-NR は VHF 電圧給電型 1/2 λ アンテナです。
VD-150MW はマルチフィーディング方式を採用しており VD-150M-NR の帯域幅の約倍の帯域幅（±6MHz）を実現しました。
アルミ製取付け金具を付属。別売でステンレス製の SUS-25 を準備しています。



ステンレス製
アンテナブラケット
S U S - 2 5

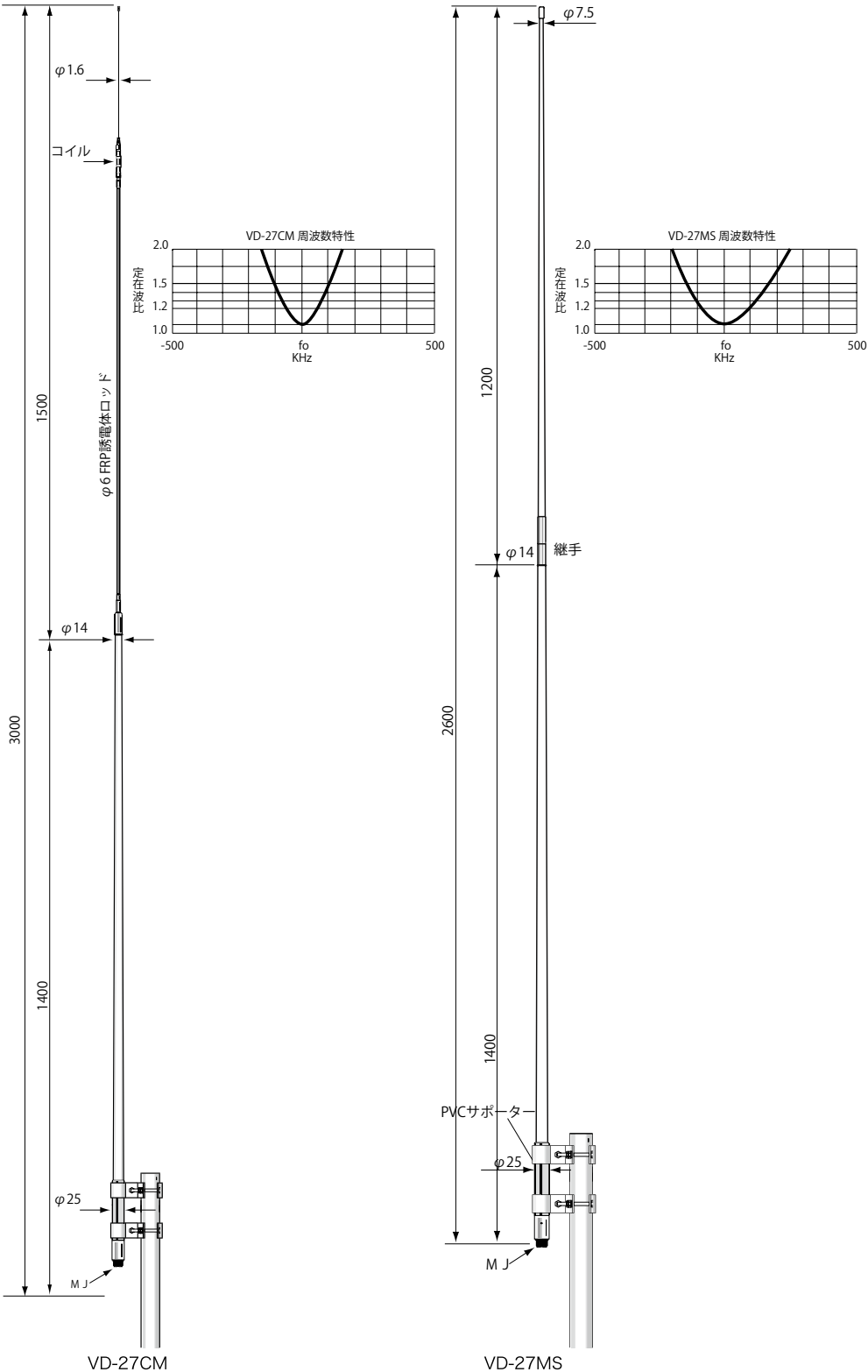


型 名	使用周波数 (MHz)	形 式	利得 (dBi)	最大入力	全長 (約 m)	質量 (約 kg)	備 考
VD-27CM	27MHz 帯内の一指定周波数	単一型 (V)1/2 λ	-	50W 以下	3	0.53	M J (N J)
VD-27MS					2.6		

V.S.W.R.：1.5 以下（同調周波数）。入カインピーダンス 50 Ω。周波数は帯域内指定一波。マストは製品には含まれていません。

27MHz 帯アンテナ、VD-27CM はトップローディング方式、VD-27MS は継手にカートリッジコイルを内蔵したセンターローディング方式、半波長で 5.5m 必要な長さを 3m 以内に短縮していますので、電波の飛びが犠牲になってしまっています。

VD-150M II B の取り付け金具は市販品を別途お買い求めください。



安全上のご注意 (必ずお守りください)

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
■弊社製品は、一般民生機器ではありません。無線の知識をもった電波法で定める無線従事者が、その資格の範囲により責任をもって使用する機器です。
運用上及び使用上の安全には十分ご注意の上ご使用ください。

注意：

この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

コネクタを濡らさないでください。

アンテナが濡れた場合、その影響で特性が変化します。乾くと元の状態に戻ります。コネクタを濡らさないでください。ペットの尿やその他液体が入ると、同軸ケーブルに浸透し故障の原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

乳幼児の手の届かない所に保管または設置してください。
けがなどの原因となります。

ペットなどのいたずらによる破損に注意してください。

ペットなどがある場所では、アンテナ、ケーブル及びコネクタに噛みついたり、破損しないよう保管または設置してください。

雷が鳴りだしたら、すぐに接続ケーブルを電気機器から外し、アンテナを収納し、安全な場所に移動してください。
落雷や誘導電、感電の原因となります。

アンテナの同軸ケーブル（コネクタの部分）には季節や地域の気候条件により静電気が発生する事があります。無線機と同軸の間に市販の同軸避雷器などを挿入してください。
しびれ、痛みを伴う事があります。

人の多い場所では使用しないでください。
アンテナの突起物が他人に当たり、けがの原因となります。

製品を極端に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものをのせたりしないでください。
ケーブルが断線したり、故障の原因となったりします。

外観の変形、故障、破損の可能性がある場合は、直ちに使用を止めてください。
そのまま使用を続けると、アンテナ及び通信機本体の故障の原因となります。

送信中、V.S.W.R が悪化した場合は直ちに送信を止め、ケーブル、コネクタを含めたアンテナのチェックを行なってください。
そのまま使用を続けると、アンテナ及び通信機本体の故障の原因となります。

分解、改造をしないでください。
けがや事故または故障の原因となります。

アンテナを不安定な場所へ設置しないでください。また、ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがや故障の原因となります。

直射日光の強い場所などの高温の場所で使用、放置はしないでください。
機器の変形、故障の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

マグネット製品を磁気カードなどの記憶媒体に近づけないでください。
記憶データが破壊もしくは消去されます。

本製品を水没するような環境へ設置しないでください。
製品は、水中における使用を想定していません。

取り付けたアンテナを外す場合は、ケーブルを引っ張ったり、無理に外さないでください。
設置場所を破損したり。落下しけがや事故または故障の原因となります。

警告：

この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。

自動車への設置は安全第一を考慮してください。

車の振動などによってアンテナが外れ、安全走行を損ない事故の要因となります。もし使用される場合は、車の運行の妨げとならないよう安全に最大限の配慮をしてください。また、平成 21 年度新保安基準により、車種や取り付け箇所によっては使用出来ない事があります。

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では使用しないでください。
電子機器や医用電気機器に影響を及ぼす場合があります。
医療機関内での使用については各医療機関の指示に従ってください。

高精度な制御や微弱な信号を扱う電子機器の近くに、アンテナを設置したり、または近づけないでください。電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器などをご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

火のそばやストーブのそばなど、高温の場所での使用、放置はしないでください。
発熱、発火などの事故または故障の原因となります。

送信中もしくは送信後間もないアンテナに触らないでください。
痛みや、やけど、感電するおそれがあります。

万が一、アンテナなどが落下しても安全な場所に設置してください。設置場所の下には防護柵を取り付けるなど安全対策をしてください。
落下して、けがや故障の原因となります。